

## 水道水に関する意識／東京・大阪・中京圏

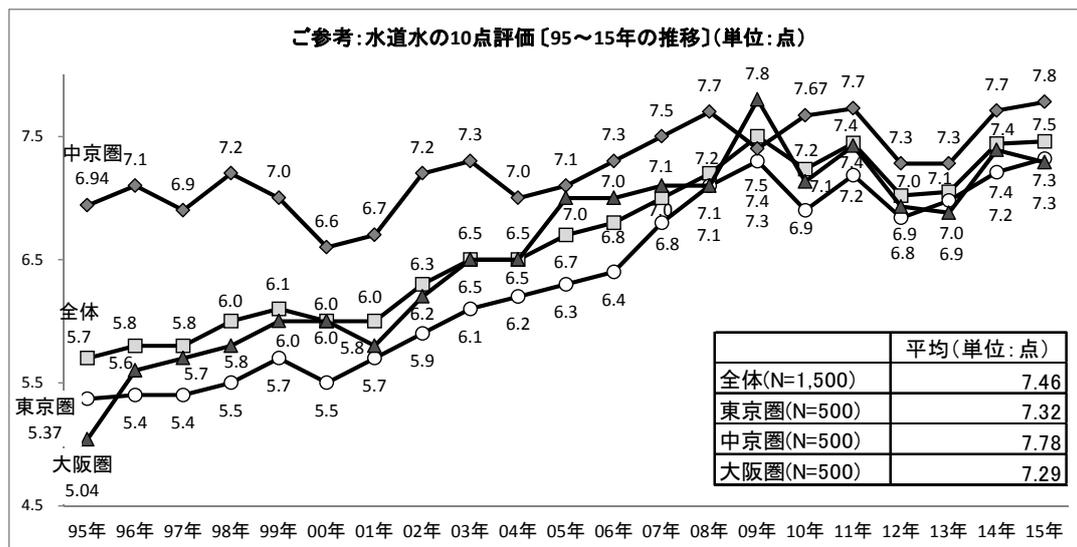
### 【水道水への評価】

#### Q.水道水を10点満点で評価すると？（0～10の整数を自由回答）

◇全体の平均は7.46点

世界トップレベルの安全性を誇る日本の水道水。今回は、どう評価されたのでしょうか。

10点満点で聞いたところ、全体の平均は7.46点で昨年(7.44点)から微増も、ほぼ横ばいの評価でした。居住地別では、昨年と変わらず中京圏が7.78点でトップとなり、東京圏と大阪圏がそれぞれ7.32点、7.29点でした。



対象エリア：1995年…東京都、大阪府、愛知県、1996～2014年…東京圏(1都3県)、大阪圏(2府1県)、中京圏(3県)  
有効回答数：1995～2009年…467～554、2010～2015年…1,500

#### Q.水道水を飲用水として10点満点で評価すると？（0～10の整数を自由回答）

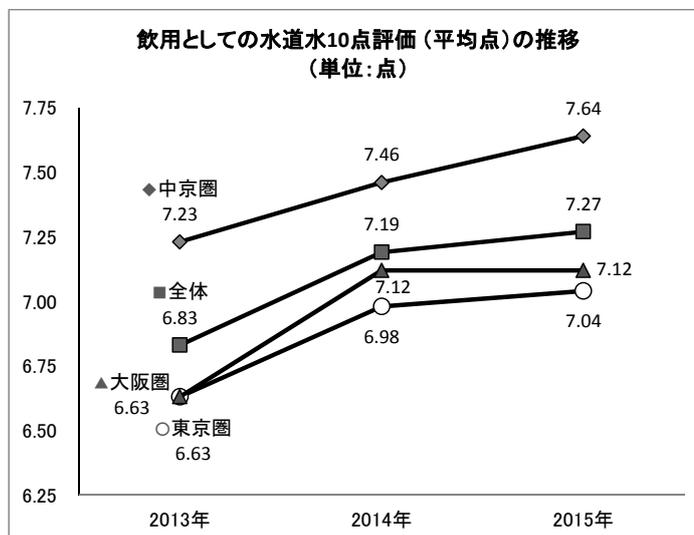
◇全体の平均は7.27点

次に、飲用目的に限定した場合の水道水評価を前述の全般的な水道水評価と同様に10点満点で聞いたところ、全体の平均は、昨年(7.19)から微増(0.08ポイント増)の7.27点、居住地別のトップは中京圏(7.64点)と、傾向としては全般的な水道水評価と変わりませんでした。

昨年唯一6点台だった東京圏は今回7.04点で、初の7点台となりました。

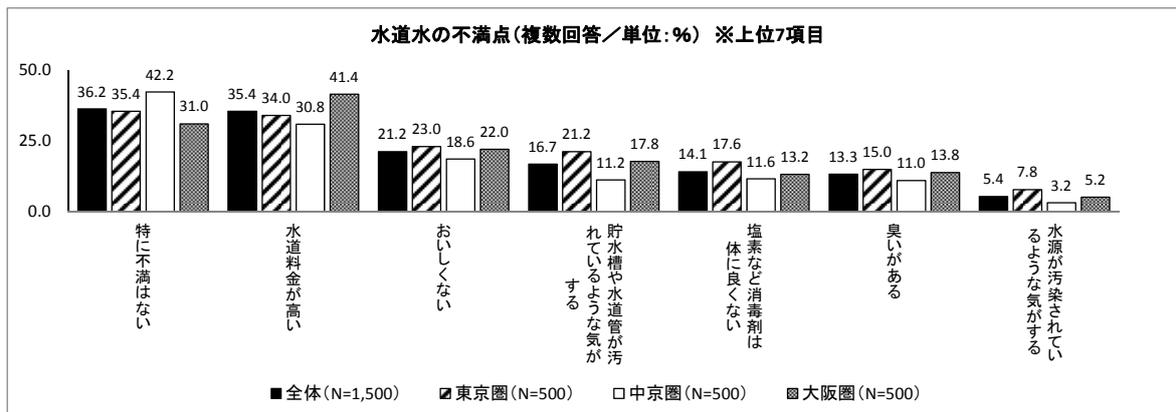
#### 飲用としての水道水10点評価(平均点)

	平均(単位：点)
全体(N=1,500)	7.27
東京圏(N=500)	7.04
中京圏(N=500)	7.64
大阪圏(N=500)	7.12



## Q.水道水について不満を感じていることは？（8択＋その他＋特に不満はない）

◇全体のトップ3は昨年同様、1位「特に不満はない」、2位「料金が高い」、3位「おいしくない」  
 居住地別では大阪圏のみ「料金が高い」が1位に



「水道水に対する不満」を聞いたところ、全体のトップ3は、1位「特に不満はない」(36.2%)、2位「水道料金が安い」(35.4%)、3位「おいしくない」(21.2%)と昨年と同じ結果でした。  
 居住地別では、大阪圏では「水道料金が高い」(41.4%)の数値が昨年より5.6ポイント上昇し1位、「特に不満はない」(31.0%)が6.2ポイント減で2位と、順位が入れ替わりました。

## 【水道水の飲用実態】

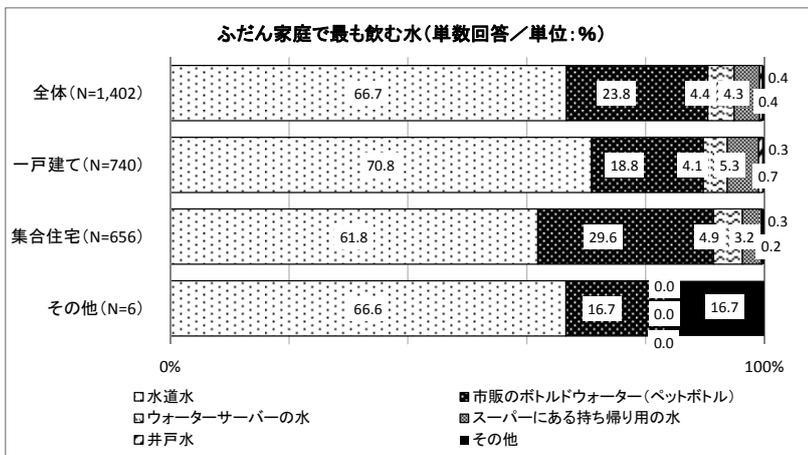
Q.ふだん家庭で最も飲んでいる水は？（5択＋その他）

Q.ボトルドウォーターを最も飲む理由は？（14択＋その他）

◇一戸建ての人ほど「水道水」を飲んでいる

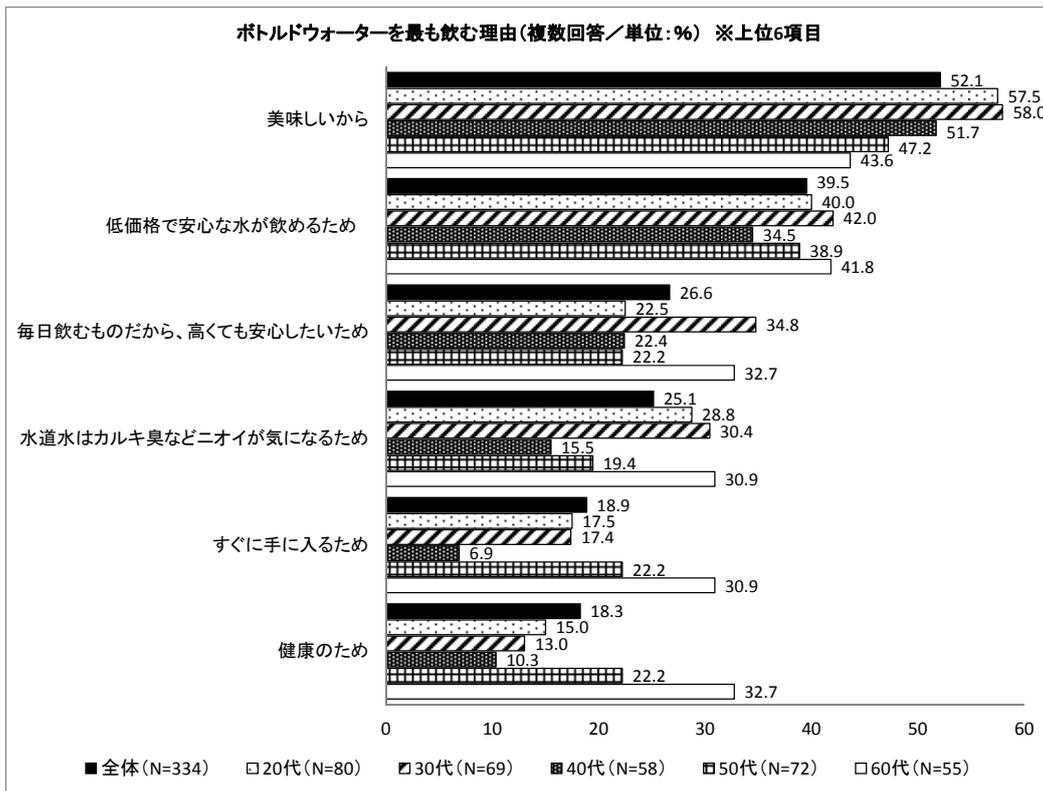
家庭ではどのような水が最も飲まれているのでしょうか？

結果は、1位「水道水」(66.7%)、2位「市販のボトルドウォーター」(23.8%)となり、以下、「ウォーターサーバーの水」(4.4%)、「スーパーにある持ち帰りの水」(4.3%)と続きました。住居形態別にみると、一戸建て、集合住宅ともに、1位は「水道水」(一戸建て70.8%、集合住宅61.8%)、2位「ボトルドウォーター」(一戸建て18.8%、集合住宅29.6%)でしたが、一戸建てでは「水道水」の数値が7割超だったのに対し、集合住宅は6割少々で、逆に「ボトルドウォーター」は、集合住宅が約3割なのに対し、一戸建てでは2割程度と、住まいの違いによる差異がありました。



◇家庭で最も飲む水2位「ボトルドウォーター」に求めるもの、半数以上が“味”を重視

次に、「家庭で最も飲む水」で「ボトルドウォーター」と回答した人を対象に、その理由を聞きました。結果は、1位「美味しいから」(52.1%)、2位「低価格で安心な水が飲めるから」(39.5%)、3位「高くても安心したいから」(26.6%)となり、多くの人が“味”や“価格の安さ”を重視する一方で、約4人に1人が値段に関わらず“安心”を求めていることがわかりました。

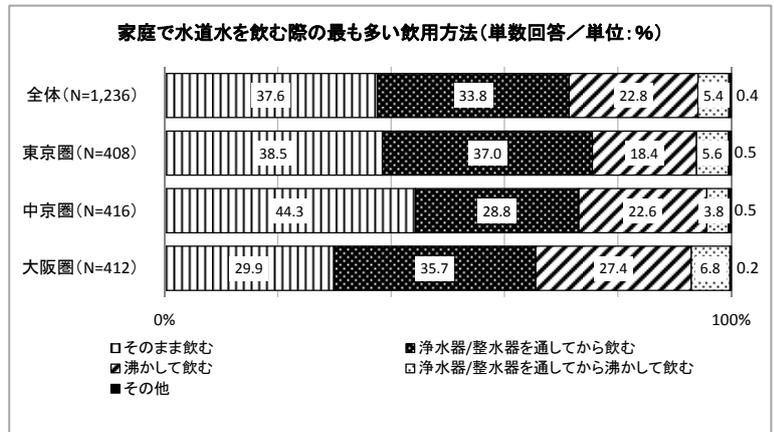


## Q.家庭で水道水を飲む際の最も多い飲用方法は？ (4択+その他)

### ◇東京圏で「そのまま飲む」人が増加、大阪圏は減少

「家庭で水道水を飲む際の最も多い飲用方法」の結果は、1位「そのまま飲む」(37.6%)、2位「浄水器/整水器を通してから飲む」(33.8%)、3位「沸かして飲む」(22.8%)と、トップ3は昨年と同様で、数値の大きな変動もありませんでした。また、2位「浄水器/整水器を通してから飲む」以下、「その他」(0.4%)までの“何らかの手を加えて飲む人”(=“そのままでは飲まない人”)の割合は、昨年に続き6割超(62.4%)でした。

居住地別に「そのまま飲む」の割合をみると、東京圏は昨年から8.8ポイント増で38.5%、大阪圏は5.7ポイント減で29.9%と、違いがみられました。



### ◇「そのまま飲む」人の飲用としての水道水評価は、昨年に続き8.00点

#### 飲用方法別の水道水10点評価(平均点)

	平均(単位:点)
全体(N=1,500)	7.27
そのまま飲む人(N=464)	8.00
手を加えて飲む人(N=772)	7.20
水道水は飲まない人(N=264)	6.17

3頁の「飲用としての水道水10点評価」を、上記の飲用方法別でみると、「そのまま飲む」人の平均は8.00点と、「全体」の平均(7.27点)を大きく上回る一方で、「水道水は飲まない」人の平均は6.17点と、「全体」の平均を1点以上下回りました。この結果は、昨年と同様の傾向です。